

学校における猛暑災害対策について

教育部 教育総務課・学校教育課

学校活動時において猛暑から児童生徒を守るため、これまで普通教室、特別教室及び中学校体育館の空調設置、小中学校昇降口などヘミストシャワーの設置、全児童への「保冷剤付ランドセル背あてパッド」や「クールタオル」の配布、「熱中症対策ガイドライン」の作成、周知など対策を行ってきました。今年度も引き続き猛暑対策を進めておりますので、その実施状況を報告します。今後はこれらの取組について検証を行い、より良い学習環境に向け対策を進めていきます。

1 焼津市の気象状況(令和 7 年 5 月から 7 月まで)

- ・猛暑日(最高気温 35 度以上)・・・ 1日 (昨年9日)
- ・真夏日(最高気温 30 度以上)・・・ 39 日 (昨年 29 日)
- ・熱中症警戒アラート発表・・・・・・・・ 9回 (昨年 19 回)

2 令和 7 年度の具体的な取組の実施状況

(1)施設面

取組	対象	実施状況
体育館への空調設備設置	全中学校9校	・昨年度完了
	全小学校 13 校	・8 月末完了
ミスト発生機の効果検証	豊田小学校 和田中学校	・グラウンドでの活動時の暑さ対策 検証期間(令和7年5月 19 日(月)～23 日(金))



(2)小学生登下校時熱中症対策

取組	実施状況
保冷剤付ランドセル背あてパッド	登下校時の熱中症対策として、小学校1年生、転入生の全児童に、配布した。 ※令和6年度に1～6年生の全児童に配布
クールタオル	

(3)焼津市立小中学校熱中症対策ガイドラインの活用

- ・昨年度作成したガイドラインを活用し、各学校で子どもを熱中症から守る取組を行った。

(4) 学校行事のスケジュールの見直し

- ・体育大会(運動会)の実施時期を暑い時期を避けるように変更
(小学校5月、中学校10月(一部5、6月))